

本年度の結果	
	算数
阿蘇市	58
全国	62.5

領域別	数と計算	図形	変化と関係	データの活用
阿蘇市	61.0	45.8	64.9	59.7
全国	67.3	48.2	70.9	65.5

観点別	知識・技能	思考・判断・表現
阿蘇市	62.5	51.3
全国	67.2	56.5

本年度の主な結果について

○変化の様子を表や式、折れ線グラフを用いて表したり、変化の特徴を読み取ったりすること、直線の平行や垂直の関係について理解することなどは、改善が見られる。

●数量の関係を捉え、問題の解決に式を用いること、底辺と高さの関係に着目し、図形の面積の求め方から面積の大きさを判断すること、複数のグラフを比べ、見いだしたことを表現することに課題がある。

●数学的な表現を用いて説明することや複数の条件をもとに解答することには、課題がある。

成果と課題

学力調査から	質問紙調査から
<p>【定着している内容】</p> <p>○伴って変わる二つの数量について、表から変化の特徴を読み取り、表の中の知りたい数を求めることはできている。(1(1))</p> <p>○正方形の意味や性質について理解することはできている。(2(2))</p> <p>【課題】</p> <p>数と計算</p> <p>●示された日常生活の場面を解釈し、小数の加法や乗法を用いて、求め方と答えを記述し、その結果から条件に当てはまるかどうかを判断することに課題がある。(3(2))</p> <p>●(2位数)÷(1位数)の筆算について、図を基に、各段階の商の意味を考えることに課題がある。(3(4))</p> <p>図形</p> <p>●正三角形の意味や性質について、操作を通して理解することに課題がある。(2(3))</p> <p>●高さが等しい三角形について、底辺と面積の関係を基に面積の大きさを判断し、その理由を記述することに課題がある。(2(4))</p> <p>変化と関係</p> <p>●百分率で表された割合について理解することに課題がある。(4(1))</p> <p>データの活用</p> <p>●示された棒グラフと、複数の棒グラフを組み合わせたグラフを読み、見いだした違いを記述することに課題がある。(4(3))</p>	<p>【肯定的な回答の割合が高かったもの】</p> <p>○「算数の勉強は大切だと思うか」「算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思うか」の質問に対しては、昨年よりも増加しており、全国よりも高い。</p> <p>【課題】</p> <p>●「算数の勉強は好き」「算数の授業の内容がよく分かる」は、減少傾向にあり、全国と比較しても低い。</p>
課題等に対応した改善指導内容	
<p>【授業改善】</p> <p>○OPDCAサイクルによる課題探究型学習を進め、課題設定一見通し一解決する一まとめ一振り返りの学びを構築する。さらに、アウトプットを重視した授業づくりを進め、知識の構造化を図る。</p> <p>○児童自らが「問い」を見だし、解決方法の見通しを持って課題解決に取り組ませる。</p> <p>○複数の条件を基に考える力や数学的な表現を用いて根拠をもって筋道立てて考える能力を育て、伝え合ったり説明したりする学び合いの充実を図る。</p> <p>○協働的な学びでは、数学的な見方・考え方を働かせながらこれまでの知識・技能をアウトプットして数学的に考える資質・能力を育成する。</p> <p>【日常的な取組】</p> <p>○児童主体の授業づくりを目指し、数学的活動を通じた活動や効果的なICTの活用を図る。</p> <p>○基礎・基本の習熟を図るため、補充的・発展的に個に応じた指導の充実を図る。</p> <p>【家庭学習等】</p> <p>○授業内容に応じた課題を出し、AIドリルを活用した習熟や予習の充実を図る。</p>	